

# 事務事業チェックシート

事務事業No 174 事業名 介護相談事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		介護保険	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大事業		一般管理事業	
事項		介護相談事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
基本方針	4	介護保険制度の適正な運営

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	介護保険課	竹本 和人	(435-1190)
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		事業内容					
事業概要	介護保険制度において、円滑な保険給付を行うため要介護（支援）認定者及び家族からの相談、苦情の対応を行うとともに、事業者が提供するサービスチェック、利用者及び事業者に対するサービス情報を提供する。		介護保険制度について、要介護（支援）認定者及び家族からの相談、苦情の対応するとともにサービス提供現場訪問等を行う。また、介護保険サービスの質を維持・向上させていくために、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業者、地域密着型サービス事業者、介護保険施設等が提供するサービスの内容についてチェック、指導等を行う「介護保険監視委員」を和歌山市介護保険条例で設置している。				
	実施内容		平成25年度 介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの苦情、相談に対応し解決する。	平成26年度 介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの苦情、相談に対応し解決する。	平成27年度 介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの苦情、相談に対応し解決する。	平成28年度 介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの苦情、相談に対応し解決する。	平成29年度 介護サービスを利用する者及びその家族からの相談、苦情に対応し解決する。介護サービス事業者からの苦情、相談に対応し解決する。

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	伸び率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人件費	常勤職員	8,281	10,934	9,983	11,106	11,106	11,677	11,106		11,106
		非常勤職員	2,277	374	422	368	362	0	362		362
		小計	10,558	1,308	10,405	11,474	11,910	11,677	11,910		11,910
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源（税等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数	常勤職員	1.08	1.46	1.46	1.46	1.46	1.53	1.46		1.46	
	非常勤職員	1.11	1.08	0.18	0.17	0.17	0	0.17		0.17	
主な予算内訳											

## 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		年度目標値	実績値	年度別達成度	年度目標値	実績値	年度別達成度
活動指標	事故報告書点検件数	年度目標値					
		実績値					
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度		
		全体目標達成度		年度別達成度			
成果指標	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度		
		全体目標達成度		年度別達成度			
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度		
		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	サービスの利用相談や苦情については増加傾向にあり、1件当たりの相談に要する時間も長いことから現状維持。
「見直し」 「改善」案	